

4月を待たずにデザイン思考が始まっています。

ハッピーキャンパスアイデアソン、学生サービスをデザイン思考で創造！

アイデアソンは、特定のテーマについて多様なメンバーが対話を通じてアイデアを出し合い、それをまとめていく形式のイベントで、新しいアイデアやイノベーションを創造する手法として注目されています。

9月22日に開催されたアイデアソンでは、「じぶん 2.0～私をアップデートする香大の新サービスを考えよう～」をテーマに、香川大学生がより楽しいキャンパスライフを送るために必要とされる新たなサービスやツールのアイデアを検討。香川大学生、職員、教員だけでなく、外部からの新しい視点を取り入れるため地域企業も参加しました。

また、参加した学生には、社会人との意見交換や発表の中で、社会生活において求められる様々な必要能力（企画立案、コミュニケーション、ファシリテーション、プレゼンテーションスキル）を向上させることも目

的としています。

当日は30名以上の参加者で、今の香川大学の課題やそれを解決するためのアイデアをディスカッション。スピードストーミングやアイデアスケッチなどの手法を用いて創造された多くのアイデアのなかから、7つのアイデアを軸に、グループに分かれてブラッシュアップしていきました。最終発表では、休校・補講などの重要情報を見逃してしまう香川大学生を救うサービス「大学情報一括管理アプリ“にゅーすくん”」や、地域のお母さん・子供と香川大学生をマッチングするサービス「HAPPYMAKEer」など、様々なアイデアが寸劇とともに紹介され、笑顔にあふれた場となりました。

学生と社会人、大学職員と地域企業人など普段あまり接点のない参加者同士ですが、アイデアソン中はお互い対等な立場で意見を出し合い、いずれも白熱した討論がどの

チームでも見られました。参加者からも、「これまでにない体験ができた」、「苦手だと思っていたが楽しく参加できた」という声など、様々な前向きな意見がありました。



i.school サマープログラムが小豆島で開催されました。

東京大学の堀井秀之教授が主宰するi.schoolが実施するサマープログラムのフィールドワーク及びワークショップが行われました。これは、i.schoolで学ぶ学生・世界各国から公募で集められた学生・地方の高校生と一緒に学べるもので、年間を通じて実施する様々なワークショップのひとつ。創造工学部が教育理念のひとつとして位置づける「デザイン思考」と共通点

を有する新たなイノベーション教育をベースとして、イノベティブかつ実践的に社会的課題の解決に挑んでいます。8月10日のワークショップでは、前日までのフィールドワークで見聞きした経験を基にして、積極的に議論を交わしていました。サマープログラム全体を通して、基本的な使用言語は英語とされており、高校生たちは自身の考えを伝えようと一生懸命でした。



香川大学全学FD「問題解決のデザイン：デザイン思考能力を育成するアクティブラーニングのススメ」を開催。

デザイン思考教育の理解と普及促進を図るために、その先駆けであるi.schoolエグゼクティブ・ディレクターの堀井秀之先生を講師にお招きし、全学FDを開催。i.schoolにおける取り組みを紹介いただくとともに、デザイン思考を用いたアクティブラーニング型授業のメソッド等についてお話しいただきました。堀井先生のご講演は、多

くの事例紹介の中で、実際に起こったハプニングや堀井先生ご自身が感じたことも交えてお話いただき、ユーモアと臨場感にあふれた内容でした。豊富な経験に裏打ちされたメソッドを学ぶ大変貴重な機会となり、教職員一同の一層の意識の高まりを感じられるFDとなりました。



☺ 学長所信

香川大学長 笥 善行

このたび2017年10月1日付けで国立大学法人香川大学学長に就任いたしました。2003年に旧香川大学と香川医科大学が統合し、新香川大学となって4人目の学長となります。

私の学長としての任期の4年間は、2016年度から始まった6年間の「第3期中期目標中期計画」の主要期間にあたります。従って私の使命の第一は、教育、研究、地域連携・社会貢献、国際化への対応、管理運営面の全てにおいて、目標の達成へ向けたリーダーシップを発揮することにあります。さらに、特筆すべき使命として、2018年4月に開講予定の創造工学部や大幅な改組を行った経済学部や農学研究科、新設予定の医学部臨床心理学科において、改革をスムーズに軌道に乗せ、動き始めた改革の歯車を止めることなく「大学全体の改革」というさらに大きな歯車の回転に繋げることだと考えます。

創造工学部では、次世代型の工学系人材の育成を目指して、デザイン思考およびリスクマネジメント能力の涵養を7つのすべてのコースに共通の教育目標として掲げております。人間が行っている作業の多くをロボットや人工知能が代替する時代が目の前に迫っており、人間にしかできない能力に磨きをかけ、新しいアイデアと創造性をはぐくみ、人間ならではのスキルと共感を発揮できるようにすることがこれからの高等教育の中心命題であると私は考えております。従って、創造工学部で開始されるデザイン思考教育、リスクマネジメント教育は、全学

共通教育を通して全学的に波及させる所存です。

一方、より専門性の高い知識やスキルを身につけさせ、真に地域創生に貢献出来る人材を育成するとともに、本学の研究力を一層強化するためには大学院改革は喫緊の課題です。地域の活力を増し、なおかつ研究力も強化出来るような大学院改革を進めたいと考えております。大学院のもう一つの役割として学び直しの機会の提供があります。本学ではすでに地域マネジメント研究科や教職大学院、生涯学習教育研究センターなどがそのような役割を果たしておりますが、今後は学び直しの機会提供の面でも大いに大学の機能を拡充させたいと思います。そもそも人類の寿命は延び続けております。60歳ないしは65歳で定年を迎えた方もそれからかなりの期間を生きがいのある人生を送って行く必要があります。そういった観点から、大学を卒業した後もいつでも自分に再投資したい人々に学びの機会を提供することも大学の大きな使命となりつつあります。

次代の我が国を背負う創造力にあふれた人材を輩出するとともに、大学に求められる多様化するニーズにも応え、揺るぎない知の拠点として香川大学が地域の発展に貢献できるよう学長としての使命を果たして行く所存です。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



10月3日(火)、OLIVE SQUARE 2Fで学長就任式が行われました。理事とともに、職員に所信を述べられる笥学長。

